



中京大学体育研究所

学術講演会

身体のしくみを理解する —スポーツとリハビリの接点—

国立障害者リハビリテーションセンター研究所
神経筋機能障害研究室長

講師

河島 則天 氏



《プロフィール》

- 2000年 金沢大学大学院教育学研究科（保健体育専攻）修了
- 2000年 国立身体障害者リハビリテーションセンター研究所 技術員
- 2002年 同研究所 流動研究員
- 2005年 芝浦工業大学先端工学研究機構 助手（博士号取得）
- 2006年 日本学術振興会 海外特別研究員（トロントリハビリテーション研究所）
- 2008年 同会 特別研究員SPD
- 2009年 国立障害者リハビリテーションセンター研究所 研究員
- 2012年 同研究所 神経筋機能研究室長

学会等で受賞多数

生体生理工学シンポジウム（計測自動制御学会SI部門）研究奨励賞

計測自動制御学会・学術奨励賞

Motor Control研究会 優秀発表賞

バリアフリーシステム開発財団奨励賞

日時

2017年

5月29日（月）

17:00 ~ 18:30

場所

豊田キャンパス

21号館

2141教室

高い身体能力や技術をもつトップアスリートは、ヒトの身体のポテンシャルを示す好例であることから、アスリート研究はすなわち、ヒトの身体機能の可能性を知る上での重要なアプローチといえます。一方、ある特定の身体機能に損傷をもつ患者さんがどのような症状を呈し、正常行動がどのように障害されるのかを観察・計測することもまた、ヒトのからだのしくみを知る上での大きな手掛かりを与えてくれます。本講演では、リハビリテーションの領域で接してきた興味深い事象を紹介しながら、患者研究がいかにヒトの身体の機能を理解する上で重要であるのかを皆さんと共有していただきます。

新しい角度から身体のしくみを学べる貴重な機会です。

多くの学生・大学院生・教職員・一般の方のご来聴をお待ちしております。※申込不要

お問い合わせ：中京大学体育研究所

0565-46-1271（内線：3605）